

この子らと

令和1年11月

まことの保育



鹿児島竜谷学園和光幼稚園



見に来てね

園長 川口公男



木材から炭火づくり

風物詩「焼き芋パーティー」



枯葉を集めてたき火をして、その中にさつまいもを入れてやきいもをつくるのは、秋から冬の季節の風物詩でした、また、やきいもは、江戸時代から続いてきた食文化でした

本園では、昔ながらの「やきいもづくり」を子どもたちにも体感してもらおうと、まきを燃やして灰づくりして、おいもを投げ入れるというやきいも体験活動を行っています。そして後は、ほかほかおいもをふうふうしてばくつく子どもたちでした。

年中組の体育教室

毎週木曜日は、体育の専門家による体育教室です。講師は四位卓也先生と永用恵梨奈先生です。

文部科学省の幼児期運動指針によると「どもが運動遊びを行う意義は、①体力・運動能力を向上させる。②基本動作を見に付ける。③心肺機能や骨形成により影響を与える。」と述べています。



本堂参拝

月一回程度の「本堂参拝」の様子です。2歳児の子どもたちも本堂の厳かな雰囲気の中で何かとてつもなく大きな存在に包まれ守られていることを体全体で感じているようです。合掌礼拝やお坊さんのお話も静かに聞けるようになっています。

「本堂」での参拝が子どもたちを心静かで安らかな気持ちに導いてくれていると思います。

職員も指導力向上を



本園では 子どもたちに次の3つの資質能力をはぐくむための保育を進めています。

「①何かを感じたり、何かに気付いたり、何かに分ったり、何かができるようになる」(知識・技能の基礎),②「気付いたり、できるようになったことなどを使いながら考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする」(思考力・判断力・表現力等の基礎),③いかにより良い生活を営むか」(学びに向かう力・人間性等)です。



そのために、お互いに保育を参観し合い、その参観を基に子どもたちの資質能力を育む指導の在り方等について研修会を月一回程度実施しています。



制作に使う材料を段ボール一杯に準備しているのを見たAくん、「先生、大変だったね、お疲れさん。」鹿児島弁丸出しの言葉に疲れもふっとびました。